



神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

2015-2016年度 第12週報 No. 1901 2015年(平成27年) 10月2日 第1901回 例会記録 10月9日発行

本日〈10月9日〉のプログラム

- ◆ 斉 唱 「我等の生業」
- ◆ 献 立 ビーフカレー
- ◆ 卓 話 「ワインを愉しむお話」
ソムリエ 堀切 和子 様
(紹介者 西山 潔 会員)

<< 本日のBGM >>
アルバム「CHEMISTRY OF LOVE / TOKU」より



PHOTO 小池将夫会員

司 会 小山 市康 副幹事

誕生日祝 茂木 知子 会員 (10月7日)
渡邊 淳 会員 (10月8日)

点 鐘 江森 国一 会長

斉 唱 「君が代」 「奉仕の理想」

四つのテスト 山本 芳弘 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)



ゲスト紹介 渡辺 誠二 様 (ゲストスピーカー)

ビジター紹介 神奈川RC 金野 克佐 様

2015-2016年度 RI会長 K.R. “ラビ” ラビンドラン



世界へのプレゼントになろう

第2590地区 ガバナー 箕田 敏彦

会 長	江 森 国 一	会 計	渡 邊 淳
会長エレクト	植 田 清 司	副 会 計	白 井 康 夫
副 会 長	矢 野 修 二	S A A 長	井 章
副 会 長	加 藤 仁 昭	副 S A A	白 鳥 厚 夫
幹 事	朝 日 達 夫	副 S A A	澁 谷 高 弘
副 幹 事	小 山 市 康	クラブ会報	田 中 龍 太 郎

例会日 毎週金曜日 0:30 ~ 1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)
例会場 ホテルキャメロットジャパン
URL <http://www.kanagawahigashi.com/>
E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

事務局 ホテルキャメロットジャパン内
〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555
創立記念日 昭和51年5月29日

結婚記念日祝

加藤 仁昭 会員 (10月4日)
小池 将夫 会員 (10月6日)
大橋 秀行 会員 (10月8日)



入会記念日祝

朝日 達夫 会員 (10月4日)



会長報告

江森 国一 会長

- ・臨時理事会報告
- ・ボーイスカウト神奈川連盟よりチャリティーゴルフ大会への寄付のお礼状が届いておりますのでご報告申し上げます。

幹事報告

朝日 達夫 幹事

- ・ロータリーレートが10月より変更になりました。
\$ 1=124 ⇒ 120円
- ・次週の卓話はソムリエの方による卓話となります。ワインの試飲がございますので、試飲をご希望の方は、車でのご来場はご遠慮下さい、
- ・次週より地区大会登録料10000円の集金を受付にて行います。全員登録となりますのでよろしくお願い致します。
- ・前年度年次報告書の校正を回覧致します。関係個所の確認をお願い致します。
- ・次週、例会終了後に10月度定例理事会を開催します。

◎例会変更のお知らせ

- * 神奈川ロータリークラブ
10月19日(月) 夜間例会
- * 横浜港北ロータリークラブ
10月22日(木) 夜間例会
- * 横浜北ロータリークラブ
10月27日(火) 夜間例会
- * 横浜日吉ロータリークラブ
10月28日(水) 夜間例会

委員会報告

雑誌委員会 委員長 森永 健

《縦組み》外国人記者による、またその目線からの来年の国際大会開催地韓国の首都ソウルの市民生活を伝えています。特に韓国へ渡航経験の無い方にとっては、大変興味を持てる内容に仕上がっていると思います。

《横組み》「友愛の広場」に、ブラジルで開催された国際大会に参加した会員の手記が紹介されています。会場の雰囲気をはじめ、会員間の国際レベルの交友の様子が報告されています。来年、韓国で開催される国際大会に出席予定の方のみならず、色々と参考になる記事になっておりますので、是非ご一読下さい。

出席報告

中野 真理 出席委員長

会員総数	53名	(32+21)名	
出席会員数	44名	(27+17)名	
出席率	89.13%		
ゲスト	1名	ビジター	1名
前回補正後	95.75%	前々回補正後	89.36%

スマイルボックス

白鳥 厚夫 副SAA

神奈川RC 金野克佐様 本日もお世話になります。

渡邊 淳君 今年も誕生日を祝って頂き、ありがとうございます。いよいよ「アラウンド還暦」となりました。「光陰矢のごとし」です。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

茂木知子さん ~2つの証明書~お誕生日のお祝いをありがとうございます。朝日さんは2つの証明書を持っているそうです。1つは公の期間が発行する独身証明書、もう一つはどういう漢字かわかりませんが、ドーテイ証明書だそうです。“ドーテイ”とはどういう漢字なのでしょう？こちらの証明書は私的なもので、提出も任意だそうです。

小池将夫君 結婚記念日のお祝い、ありがとうございます。早いもので、50年が経過したようです。今後も“アホウ鳥”夫婦を続けていきたいと思ひます。

加藤仁昭君 結婚祝い、ありがとうございます。確か、41回目だと思えます。これからもよろしくお願ひします。

江森国一君 パスト会長の皆様、本日はご指導ありがとうございました。

石川正三君 月遅れの“雑誌月間”です。ロータリーの友事務所の渡辺誠二所長に卓話をお願いしました。ご清聴の程を・・・。

青柳 紀君 赤い羽根へ心ばかりの寸志。

山本 登君 クライマックスもあるよ。

伊東英紀君 渡辺様、本日の卓話、楽しみにしています。

山田正憲君 渡辺誠二様、先日はありがとうございました。本日の卓話、楽しみにしています。

西山 潔君 ロータリーの友事務所長 渡辺様、本日の卓話、よろしくお願ひ致します。

山本芳弘君 本日の例会終了後、3階ロビーにて職業奉仕委員会を開催します。関係各位にはよろしくお願ひ致します。

澁谷高弘君 赤い羽根、ありがとうございます。

10月2日	14件	45,600円
本年度累計		632,200円

「『ロータリーの友』あれこれ」

(社)ロータリーの友事務所 所長・理事 渡辺 誠二 様
(紹介者 石川 正三 会員)



「ロータリーの友」について、3つのポイントに絞って、お伝えしたい内容を以下に記していきます。

1. 「ロータリーの友」の基本

2015年9月号には創刊25周年記念の、『友』に関わる創設の経緯や取組みなどの座談会記事を掲載していますが、1953年1月の創刊です。1972年1月号からは現在の縦組み横組みの編集になり、1980年1月号からは地域雑誌としての基準を満たし、R Iに認可され、現在は電子版も発行しています。

さて、『友』は世界中にある地域雑誌、『ROTARY WORLD MAGAZINE PRESS』と呼ばれます。なお、R I本部が発行する『ザ・ロータリー』が世界で唯一の機関誌となっています。

ところで『友』の編集方針は、横組みはR I指定記事や特別月間特集などロータリーの機関誌としての性格を強く持っています。縦組みは日本のロータリアンのコミュニケーションの懸け橋となる投稿記事が中心です。そして、雑誌購読はロータリアンの義務とされています。(3大義務：会費納入、例会出席、雑誌購読)

2. ロータリーの友事務所(『友』発行所)

1953年以来継続発行していますが、2010年度までは任意団体「ロータリーの友委員会」が友事務所を管理指導して発行してきました。その中で、財政や運営課題を解決し、R I認可基準改定に併せて、定款を定め「一般社団法人ロータリーの友事務所」を新たに設置。任意団体の資産・負債とともに、事業を引き継ぎました。

そして、現在の法人は、非営利を徹底した一般社団法人の定款を持っています。従って法人役員には、仮に収益を上げても、その配分を請求する権利もありませんし、万一解散する場合でも、公益法人と同様に、国庫および同種の法人への移譲となります。

なお、R I認可はロータリーの友委員会が4～5年ごとに審査を受け継続しています。(詳細はロータリー章典)

3. その他

『友』は今後も地域雑誌として、ロータリアンの皆様に、世界・日本の情報を配信して行きます。本年7月号の「ロータリーの友委員会」橋本委員長巻頭言にあるように、皆さまからの投稿記事を大切にしたい編集をしていきます。そして、2013年の規定審議会で決定されたように、従来の印刷版と新規の電子版の両方を発行していきます。現在の電子版は印刷版とまったく同じものとしています。今後も開発を検討していきますが、費用面から、非常に高い壁にぶつかっています。

いずれにしても、R Iが規定する地域雑誌は、「印刷媒体と電子媒体」の両者と定義されていますので、Web時代の成熟に合わせ、今後もチャレンジを続けます。

友事務所運営は、『友』の発行による収入のみで成り立っていると云えます。1996年11月末に130,982人の会員数が2015年6月末には約88,000人となり、減少傾向に歯止めが掛かってきたとの観測もありますが、早急な判断は禁物と考え、緊張し運営に当たります。

最後に、『友』は皆さんからの投稿で成り立っていますので、皆さんが『友』を作っているという事になります。今後とも『友』にご支援をお願い致します。

ロータリーニュース

ナイジェリアをポリオ常在国リストから除外

：残るはパキスタンとアフガニスタン

世界保健機関(WHO)は9月25日、ナイジェリアを野生型ポリオウイルスの常在国リストから正式に除外しました。

ナイジェリアでは、最後の野生型ポリオウイルスの発症が報告されてから14カ月が経過しています。この結果、ポリオ常在国（野生型ポリオの発症が続いている国）は、アフガニスタンとパキスタンを残すのみとなり、アフリカ全土のポリオ撲滅の実現に限りなく近づきました。アフリカでは、1年以上野生型ポリオ発症が見られていないため、アフリカ全土でこのままあと2年弱、発症が報告されない場合、WHOがアフリカでのポリオ撲滅を宣言することになります。

国際ロータリーのK. R. ラビンドラン会長は、次のように述べています。

「子どもたちが一人残らずポリオの予防接種を受けられるような大きな努力を払ってくださったボランティア、保健従事者、保護者の皆さんに対し、ロータリーが主要パートナーとなっている世界ポリオ撲滅推進活動（GPEI）を代表して、深く感謝致します。これからも手を緩めることなく、ナイジェリアをポリオフリーに保ちつつ、パキスタンとアフガニスタンでもポリオをなくすことに力を注いでまいります」

ナイジェリアでのこの成果は、国内外からの資金提供、何千人もの保険従事者の貢献、治安の悪い北部地域での新たな予防接種戦略による予防接種普及など、持続的な努力が実を結んだものです。

第2種ポリオウイルスは撲滅

3種類ある野生型ポリオウイルスのうち、第2種ウイルスの発症は1999年以来見られておらず、9月21日、第2種の撲滅がポリオ撲滅の認定機関により確認されました。ロータリーをはじめとするGPEIのパートナー団体が、全3種類のウイルスの発症に対して予防するワクチンから第1種と第3種のみに対応するワクチンに切り替えようとしている現在、第2種野生型ポリオウイルスの撲滅が正式に確認されたことは大きな意味を持っています。

Global Commission for the Certification of Poliomyelitis Eradication（ポリオ撲滅認定のための世界委員会）の今回の発表により、野生型ポリオウイルスは、第1種と第3種を残すのみとなりました。第1種が今も常在しているのはアフガニスタンとパキスタンのみで、第3種の発症は3年近く検知されていません。

新たな資金ニーズ

GPEIの運営理事会は9月25日の会合で、これからのポリオ撲滅活動について話し合い、今後数年間に、新たに15億ドルの資金が必要とされること、また、「ポリオフリー」の国々で予防接種を続け、アフガニスタンとパキスタンに力を入れることを確認しました。これについて、ロータリーのインターナショナル・ポリオプラス委員長、マイケル・マクガバンさんは次のように述べています。

「十分な資金と、撲滅を実現する決意があれば、2016年中にパキスタンとアフガニスタンでも野生型ポリオウイルスの感染を阻止し、2019年に世界からポリオをなくすことができるはずです。ロータリー会員をはじめとする皆さまの支援によって、遠からずポリオのない世界が実現すると信じています」

ロータリーとシェルターボックスがシリア難民を支援

2011年から内戦が続くシリアでは、毎日6,000人以上が国外に逃れています。9月現在で登録された難民数は410万人以上に上り、760万人以上が国内で避難生活を強いられています。現在の世界の難民数は「過去最悪」とであると、国連は報告しています。

「シリア難民の苦境により、今、世界の“思いやり”が試されている」と話すのは、国際ロータリーのジョン・ヒューコ事務総長です。「世界中のロータリー会員は、シリアや世界各地での難民問題に深く心を痛めています。私たちは、避難を強いられた人びとの苦しみと不安を和らげるために、行動を起こすよう会員に呼びかけています。ロータリー会員は、職業スキルと知識、そして各地域リーダーとの人脈を駆使して、地元の人びとを結集させ、この人道的危機に取り組むことができます」

支援の一つの方法として、ロータリーのパートナーである非営利団体、シェルターボックスによる災害救援活動への寄付も行われています。シェルターボックスはこれまで4年近くにわたり、国連難民高等弁務官事務所と協力してシリア難民に救援物資を提供してきました。また、欧州へと移動する際にギリシャとトルコを通過する難民のために、仮設住居と生活物資の提供も行っています。多くのシリア難民が、命の危険を冒して海を渡り、ギリシャへとやってきます。

大勢の難民が押し寄せるギリシャのレスボス島では、たどりと着く難民の数が一日2,000人に上ることもあります。

「小さなゴムボートにあふれるほど大勢の人が乗ってやってきます。しかもそのほとんどは泳げないのです」と語るのは、最近ギリシャから戻ったシェルターボックス救援チームのメンバー、レイチェル・ハービーさんです。「さぞ恐ろしい経験に違いありません。しかも、この人たちは既に内戦での心の傷を抱えた人たちなのです」

ヒューコ事務総長はこう語ります。「何百万という難民の支援に力を注いでいるロータリークラブと会員の皆さまに心から感謝しています。難民生活を強いられたすべての方々には、深い同情を感じています」



ロータリーニュース

次回〈10月16日〉の卓話予定

テーマ 「横浜マリノスの地域貢献活動」

横浜マリノス株式会社 取締役 中村 勝則 様

（紹介者 天野 公史 会員）